

# 第142期 報 告 書

(平成19年3月1日から平成20年2月29日まで)



松 竹 株 式 会 社

株主の皆様へ

## 松 竹 株 式 会 社

代表取締役社長 迫 本 淳 一



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社は第142期（平成19年3月1日から平成20年2月29日まで）の事業活動を終了いたしましたので、事業の概況をご報告申し上げます。

なお、当期の期末配当金につきましては、1株当たり3円とさせていただきますました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

### 事 業 の 概 況 ( 連 結 )

当連結会計年度におけるわが国経済は、好調な企業収益や輸出拡大を背景とした設備投資の増加や雇用情勢の改善がみられ、個人消費も底堅く推移したとはいえ、米国サブプライムローン問題による金融市場の低迷や原油価格の高騰等から先行き不透明の様相を呈しました。

映画界は、シネコンのシェア拡大によりスクリーン数が増加する一方、秋から正月にかけての興行の不振が大きく影響し、1スクリーンあたりの売上も減少する厳しい環境となり、興行収入は2,000億円を割り込みました。興行以外では、映画業界全体の取り組みとして平成19年8月施行の「映画盗撮防止法」により、海賊版DVDやインターネット上への違法画像に対して、一定の抑制効果が表れてきました。演劇界は、団体のお客様とともに個人のニーズに応じた魅力ある作品の提供が求められ、伝統文化の歌舞伎と話題性の多いミュージカルが、会員組織やインターネット等を利用した観客を集め、安定した収益をあげました。不動産業界は、好調な企業業績により、都心ではオフィスビル市場の貸し手市場が続き、賃料相場は上昇傾向となりました。

このような状況のもと、当社グループは、より一層の経営の効率化を図るとともに、積極的な営業活動に努めてまいりました。松竹単体は、活発な営業活動の展開により、経常利益1,476百万円（前事業年度比523.1%）と大幅に業績を伸ばしました。連結決算では、映画興行界全体の冷え込みがシネコン子会社の当期純損益に大きな影響を与えました。以上の結果、当連結会計年度は、売上高93,558百万円（前連結会計年度比97.9%）、営業利益1,899百万円（同85.1%）、経常利益1,266百万円（同99.0%）となり、特別利益41百万円、

特別損失795百万円を計上し、当期純損失は、339百万円となりました。

以下、事業別の概況をご報告申し上げます。

## □映像関連事業 ●●●●●●●●●●●●●●●●

配給は、邦画19本、アニメ8本、洋画2本を公開しました。「ゲゲゲの鬼太郎」「東京タワー オカンとボクと、時々、オトン」「大日本人」等邦画が健闘しましたが、夏から年末にかけて公開した作品が期待の成果を残せず、厳しい結果となりました。その中で、当社製作の山田洋次監督作品「母べえ」が、元旦に全国各世帯へ主演の吉永小百合さんからの年賀状が届くという日本郵政グループとのタイアップ等もあり、ヒットにつながりました。更に第58回ベルリン国際映画祭コンペティション部門へ正式出品され、国内外ともに高い評価を得ました。また「東京タワー オカンとボクと、時々、オトン」が第31回日本アカデミー賞で、作品賞・監督賞をはじめ主要5部門の最優秀賞を受賞したことも明るい話題です。

興行は、「パイレーツ・オブ・カリビアン／ワールド・エンド」「ハリー・ポッターと不死鳥の騎士団」等、期待以上の成績をあげた作品もありましたが、全体として前連結会計年度を下回る結果となりました。興行網に関しては、連結子会社である株松竹マルチプレックスシアターズにおいて、夏興行は盛況でしたが、秋以降の洋画等や正月興行の不振により、近年にない低調な成績となりました。当社では、平成19年4月にオープンした共同運営の「なんばパークスシネマ」等は好調な成績をあげ、収益に寄与しました。

テレビ制作は、13作品30本を制作しました。15年ぶりに復活した「必殺仕事人2007」は高い視聴率と反響を呼び、「ぼちんこ 必殺仕事人Ⅲ」が30万台に迫る売上を記録し、権利ビジネスとしても大きな収益をもたらしました。また、「鬼平犯科帳」「剣客商売」の両シリーズに加え、スペシャル時代劇「敵は本能寺にあり」を制作し好評を得ました。

映像ソフトは、「ゲゲゲの鬼太郎」レンタル用DVDの販売が好調で、収益に大きく貢献しました。韓国テレビドラマシリーズ「ホジュン～宮廷医官への道～」や「男はつらいよ」DVD全49巻セットの販売でも好成績をあげました。

テレビ放映権販売は、地上波のゴールデンタイム放送枠における「武士の一分」「釣りバカ日誌」をはじめ、BS・CS放送に対する「男はつらいよ」等多数の作品を販売しました。映画のブロードバンド配信サイト「シネリエ」も、提携事業者を増やし堅調に推移しました。海外向け作品販売は、映画「バクシル2077日本鎖国」やテレビシリーズ「シュヴァリエ」等アニメ作品が好稼働しました。

CS放送事業は、連結子会社である株衛星劇場の「衛星劇場」チャンネルおよび「ホームドラマチャンネル」において韓国ドラマが根強い人気を維持しましたが、新規加入者獲得競争が厳しさを増す状況となりました。





の部分使用による、ゲーム（パチンコ）化等商品の拡大を図ります。

演劇事業は、歌舞伎座で歴史上初めて坂田藤十郎と市川團十郎の大名跡が江戸・東京の同じ舞台上揃う「三月大歌舞伎」、豪華顔ぶれの「四月大歌舞伎」「團菊祭五月大歌舞伎」、中村勘三郎を中心とした「八月納涼歌舞伎」、新橋演舞場で中村吉右衛門を座頭とした「五月大歌舞伎」、新派120周年記念の「六月新派公演」、藤山直美の「年忘れ喜劇まつり」、また関西では、大阪松竹座で「浪花花形歌舞伎」「七月大歌舞伎」等充実した歌舞伎公演、藤山直美の「なおみまつり」、南座では、藤山直美の「水無月喜劇名作公演」や京都の掉尾を飾る「吉例顔見世興行」を展開します。更に日生劇場で「越路吹雪物語」の再演、シアターコクーンで「夏祭浪花鑑」等お客様に喜んでいただける魅力ある舞台をつくります。海外公演では、中村勘三郎を中心とする「平成中村座」が5月から6月にかけてドイツ・ルーマニア公演を行います。また日本の歌舞伎と中国の昆劇、ともにユネスコ世界文化遺産に認定されている伝統的演劇の交流となる「坂東玉三郎 中国昆劇 合同公演」を3月南座、5月北京の湖廣会館と二カ国で上演いたします。「シネマ歌舞伎」は、平成19年11月新橋演舞場「錦秋演舞場祭り」において山田洋次監督により演出・収録された好評の舞台「人情 断文七元結」と、中村勘三郎・勘太郎・七之助親子共演の「連獅子」の公開が期待されるほか、「METライブビューイング」も充実した作品を提供してまいります。

不動産事業は、「新宿ピカデリー」を中心とした複合ビル新宿松竹会館が本年7月（予定）に完成いたします。京都撮影所リニューアル工事は、平成21年3月の完成を目指し引き続き工事をすすめてまいります。既存ビルでは、建物施設の保全管理に注力し、快適な環境づくりに努めるとともに、積極的に全国不動産の有効活用を図ります。

その他の事業は、劇場用商品事業につきまして、携帯モバイルやウェブでの通販仕様を見直し、年々多様化する顧客ニーズに即応した販売チャンネルの開拓に努めるとともに、新たな事業を企画開発いたします。

歌舞伎公式ウェブサイト「歌舞伎美人」は好評を得ており、今後はモバイル版への展開や「松竹歌舞伎検定」の実施、歌舞伎をテーマにした衣料品や靴のオリジナルブランドの販売等、事業拡充を図ります。

株主の皆様におかれましては、引き続き当社グループの事業活動への変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 庶務の概況

## 当社株主総会

平成19年5月24日（木）午前10時から東京都中央区築地四丁目1番1号東劇ビル内東劇において当社第141回定時株主総会を開催し、下記の事項を報告並びに決議しました。

- 報告事項**
1. 第141期（平成18年3月1日から平成19年2月28日まで）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件  
本件は、上記事業報告、連結計算書類の内容およびその監査結果を報告いたしました。
  2. 第141期（平成18年3月1日から平成19年2月28日まで）計算書類報告の件  
本件は、上記計算書類の内容を報告いたしました。

## 決議事項

- 第1号議案** 剰余金処分の件  
本件は、原案のとおり承認可決され、以下のように決定いたしました。  
(1) 配当財産の種類  
金銭  
(2) 配当財産の割当てに関する事項およびその総額  
当社普通株式1株につき3円、配当総額は374,429,154円  
(3) 剰余金の配当が効力を生じる日  
平成19年5月25日
- 第2号議案** 定款一部変更の件  
本件は、原案のとおり承認可決されました。
- 第3号議案** 取締役8名選任の件  
本件は、原案のとおり安孫子正、中島 厚、油谷 昇、松本輝起の4氏が再選され、新たに上條清文、荒牧大四郎、武中雅人、細田光人の4氏が選任され、それぞれ就任しました。
- 第4号議案** 監査役2名選任の件  
本件は、原案のとおり岡田敏明、柏木俊彦の両氏が再選され、それぞれ就任しました。  
なお、柏木俊彦氏は、社外監査役であります。
- 第5号議案** 退任取締役に対し退職慰労金贈呈の件  
平成18年12月13日に逝去しました故取締役永山武臣氏に対し、また本総会終結の時をもって任期満了により退任される取締役清水 仁氏および辞任される取締役山本雅司氏に対し、在任中の労に報いるため退職慰労金を、それぞれ当社の定める一定の基準に従い相当額の範囲内で贈呈することとし、その具体的金額、贈呈の時期、方法等は取締役会に一任することで承認可決されました。

## 当社取締役会

平成19年3月1日から平成20年2月29日まで取締役会を開催すること26回、重要事項につき協議しました。

## 当社登記事項

\* 第1回新株予約権行使による新株予約権の個数の変動は下の表をご参照下さい。

登記日	新株予約権の数 (1個 = 普通株式1,000株)	変更日
平成19年 3月7日	325個	2月28日
4月12日	312個	3月31日
7月9日	306個	6月30日
8月7日	293個	7月31日
9月11日	276個	8月31日
11月6日	263個	10月31日
12月10日	247個	11月30日

平成19年6月5日

会社の目的に「11.労働者派遣業」追加の旨の変更登記を完了しました。

第141回定時株主総会に基づく取締役変更登記（安孫子正、中島 厚、油谷 昇、松本輝起、4氏の重任、上條清文（社外取締役）、荒牧大四郎、武中雅人、細田光人、4氏の新任、清水 仁氏（社外取締役）の退任、山本雅司氏の辞任）、監査役変更登記（岡田敏明、柏木俊彦（社外監査役）、両氏の重任）および会計監査人変更登記（新創監査法人の重任）を完了しました。

「取締役等の会社に対する責任の制限に関する規定」の旨の設定登記を完了しました。

「社外取締役等の会社に対する責任の免除に関する規定」の旨の設定登記を完了しました。

## 庶務事項

平成19年

- 3月6日 ミッドランド スクエア シネマ（共同運営）をオープンしました。
- 3月22日 歌舞伎俳優坂田藤十郎が第58回NHK放送文化賞を受賞しました。
- 3月23日 歌舞伎俳優市川團十郎一行がフランスにて「パリ・オペラ座松竹大歌舞伎公演」を行いました。（～30日）  
歌舞伎俳優市川團十郎がフランス芸術文化勲章コマンドゥール、市川海老蔵がフランス文化勲章シュバリエをそれぞれフランス政府より受賞しました。
- 3月27日 第16回日本映画批評家大賞で檀れい（「武士の一分」）が新人賞を受賞しました。
- 3月29日 第28回松尾芸能大賞で歌舞伎俳優市川春猿が新人賞を受賞しました。
- 4月2日 歌舞伎俳優坂東三津五郎が第15回橋田賞を受賞しました。
- 4月18日 角座1・2を閉館しました。
- 4月19日 なんばパークスシネマ（共同運営）をオープンしました。
- 4月25日 歌舞伎俳優市川團十郎らが天覧歌舞伎として「国際文化会館 松竹大歌舞伎」を行いました。
- 4月29日 歌舞伎俳優市川團十郎が春の紫綬褒章を受章しました。
- 5月9日 第141回定時株主総会招集通知を株主に発送しました。
- 5月24日 第141回定時株主総会を東劇ビル内東劇にて開催しました。  
第141期報告書、株主総会決議通知書を株主に発送しました。
- 5月28日 当社演劇本部顧問寺川知男が死去しました。
- 5月29日 第141期有価証券報告書を関東財務局に提出しました。
- 6月18日 歌舞伎俳優中村翫雀が第63回日本芸術院賞を受賞しました。
- 7月16日 歌舞伎俳優中村勘三郎一行がアメリカで「松竹大歌舞伎 平成中村座 ニューヨーク公演」（～22日）、「歌舞伎 ワシントン公演」（26日）を行いました。
- 9月4日 歌舞伎俳優坂田藤十郎一行が中国で「松竹大歌舞伎近松座中国公演」を行いました。（～22日）
- 10月22日 金井大道具(株)代表取締役会長 金井俊一郎が死去しました。
- 10月31日 LOHASTIME OSAKAを閉店しました。
- 11月3日 歌舞伎俳優中村梅玉が秋の紫綬褒章を受章しました。
- 11月15日 第142期中間報告書を株主に発送しました。
- 11月26日 「故永山武臣一周忌の会」を東京會館にて執り行いました。
- 11月29日 第142期半期報告書を関東財務局に提出しました。
- 12月1日 第25回ゴールデンクロス賞で「武士の一分」が日本映画部門銀賞を受賞しました。
- 12月7日 歌舞伎俳優市川團十郎が第55回菊池寛賞を受賞しました。

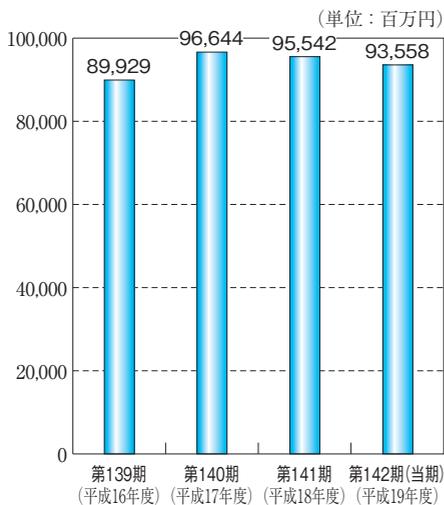
12月28日 第20回日刊スポーツ映画大賞で木村拓哉（「武士の一分」）が主演男優賞、笹野高史（「武士の一分」）が助演男優賞、樹木希林（「東京タワー オカンとボクと、時々、オトン」）が助演女優賞、「武士の一分」が石原裕次郎賞をそれぞれ受賞しました。

#### 平成20年

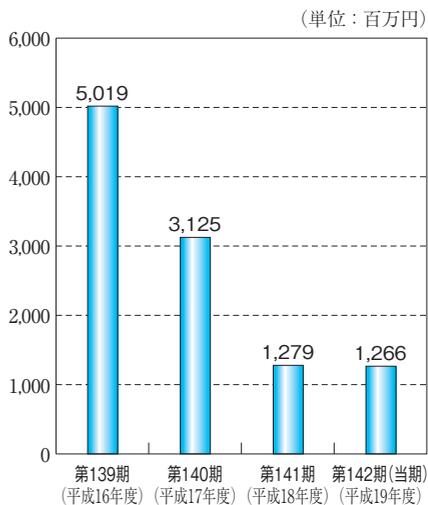
- 1月24日 2007年度芸術祭賞で歌舞伎俳優中村京蔵が舞踊新人賞を受賞しました。
- 1月29日 名古屋証券取引所における株式の上場廃止を申請しました。（廃止日平成20年3月2日）
- 1月28日 斎藤雅文（「竜馬がゆく～立志編」）が第36回大谷竹次郎賞を受賞しました。
- 1月31日 歌舞伎俳優坂田藤十郎が第7回朝日舞台芸術賞を受賞しました。
- 2月5日 第11回文化庁メディア芸術祭アニメーション部門で「河童のクゥと夏休み」が大賞、「カフカ 田舎医者」が優秀賞をそれぞれ受賞しました。
- 2月13日 第62回毎日映画コンクールで「河童のクゥと夏休み」がアニメーション映画賞、「カフカ 田舎医者」が大藤信郎賞をそれぞれ受賞しました。
- 2月15日 第31回日本アカデミー賞で「東京タワー オカンとボクと、時々、オトン」が最優秀作品賞を受賞し、その作品で松岡錠司が最優秀監督賞、松尾スズキが最優秀脚本賞、樹木希林が最優秀主演女優賞、小林薫が最優秀助演男優賞をそれぞれ受賞しました。  
また、同日本アカデミー賞で、ウェンツ瑛士（「ゲゲゲの鬼太郎」）、内田也哉子（「東京タワー オカンとボクと、時々、オトン」）、北乃きい（「幸福な食卓」）がそれぞれ新人賞を受賞しました。
- 2月27日 第15回読売演劇大賞で、歌舞伎俳優坂田藤十郎が優秀男優賞、舞台演出家戌井市郎が芸術榮譽賞をそれぞれ受賞しました。

## □業績の推移・連結

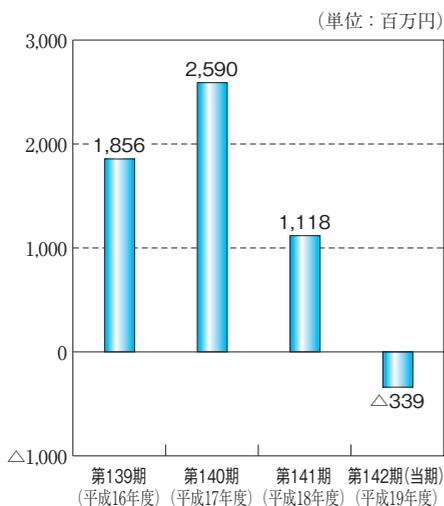
### 売上高



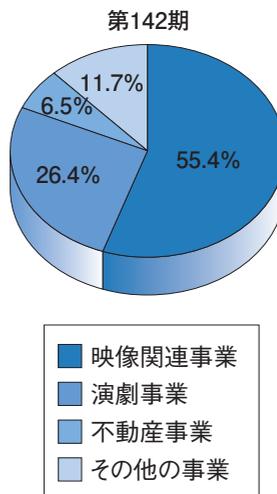
### 経常利益



### 当期純利益



### 事業別売上



# 連結貸借対照表

(平成20年2月29日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>資産の部</b>		<b>負債の部</b>	
<b>流動資産</b>	<b>31,739,245</b>	<b>流動負債</b>	<b>26,638,981</b>
現金及び預金	10,120,787	支払手形及び買掛金	6,534,318
現金及び預金 (責任財産限定対象)	571,578	短期借入金	3,482,200
信託預金(責任財産限定対象)	3,620,856	一年以内返済予定長期借入金	5,309,458
受取手形及び売掛金	6,158,839	一年以内返済予定長期借入金 (責任財産限定)	977,250
たな卸資産	6,092,345	一年以内償還予定社債	300,000
前払費用	747,238	未払金	4,597,934
繰延税金資産	850,374	未払費用	712,089
立替金	462,095	未払事業所税	93,352
未収消費税等	131,077	未払法人税等	646,327
その他	1,150,823	未払消費税等	208,887
貸倒引当金	△43,919	賞与引当金	410,775
<b>固定資産</b>	<b>126,191,519</b>	リース資産減損勘定	15,827
<b>有形固定資産</b>	<b>95,749,790</b>	その他	3,350,559
建物及び構築物	18,842,442	<b>固定負債</b>	<b>70,418,507</b>
信託建物(責任財産限定対象)	16,394,543	社債	1,800,000
設備	16,193,818	長期借入金	33,282,070
機械装置及び運搬具	869,607	長期借入金(責任財産限定)	25,999,500
工具・器具・備品	1,645,322	繰延税金負債	1,792,507
土地	19,353,975	退職給付引当金	1,863,926
信託土地(責任財産限定対象)	18,751,834	役員退職慰労引当金	547,259
建設仮勘定	3,604,079	受入保証金	5,127,958
その他	94,168	リース資産減損勘定	5,284
<b>無形固定資産</b>	<b>3,524,311</b>	<b>負債合計</b>	<b>97,057,488</b>
借地権	1,283,969	<b>純資産の部</b>	
商標権	10,555	<b>株主資本</b>	<b>56,974,478</b>
ソフトウェア	536,832	資本金	28,143,695
のれん	1,645,202	資本剰余金	25,066,497
その他	47,751	利益剰余金	5,114,202
<b>投資その他の資産</b>	<b>26,917,417</b>	自己株式	△1,349,917
投資有価証券	15,082,231	評価・換算差額等	2,550,071
長期貸付金	2,918,542	その他有価証券評価差額金	2,550,071
長期前払費用	729,348	<b>新株予約権</b>	<b>65,708</b>
繰延税金資産	217,583	少数株主持分	1,290,210
差入保証金	5,712,430	<b>純資産合計</b>	<b>60,880,468</b>
その他	2,360,252	<b>負債・純資産合計</b>	<b>157,937,957</b>
貸倒引当金	△102,972		
繰延資産	7,192		
株式交付費	7,192		
<b>資産合計</b>	<b>157,937,957</b>		

## 連結損益計算書

（平成19年3月1日から  
平成20年2月29日まで）

（単位：千円）

科 目	金 額
売上高	93,558,824
売上原価	54,674,531
売上総利益	38,884,293
販売費及び一般管理費	36,984,691
営業利益	1,899,602
営業外収益	878,146
受取利息及び配当金	364,905
持分法による投資利益	4,932
その他	508,307
営業外費用	1,510,797
支払利息	1,068,651
貸倒引当金繰入額	22,360
その他	419,785
経常利益	1,266,951
特別利益	41,000
訴訟和解金	41,000
特別損失	795,192
固定資産除却損	81,530
映像商品等償却損	60,875
投資有価証券評価損	80,500
役員退職慰労金	22,327
ゴルフ会員権評価損	8,524
減損損失	541,434
税金等調整前当期純利益	512,759
法人税、住民税及び事業税	867,327
法人税等調整額	355,307
少数株主損失	370,809
当期純損失	339,066

## 連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（平成19年3月1日から  
平成20年2月29日まで）

（単位：千円）

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,052,679
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,412,338
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,624,722
現金及び現金同等物に係る換算差額	△28
現金及び現金同等物の増減額	△3,734,964
現金及び現金同等物の期首残高	13,180,836
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少	△15,514
現金及び現金同等物の期末残高	9,430,356

## 連結株主資本等変動計算書

（平成19年3月1日から  
平成20年2月29日まで）

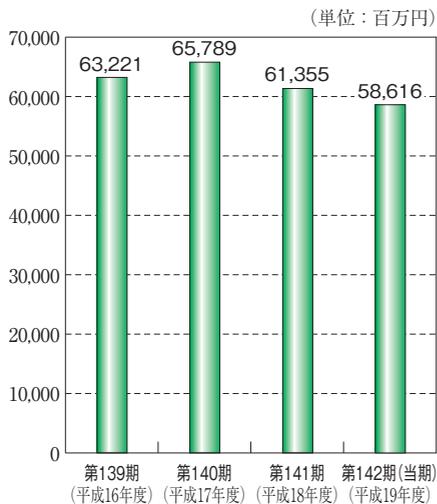
（単位：千円）

	株 主 資 本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計
平成19年2月28日残高	28,143,695	25,073,005	5,740,100	△1,351,467	57,605,334
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△372,485		△372,485
連結子会社減少に伴う剰余金増加			85,654		85,654
当期純損失			△339,066		△339,066
自己株式の取得				△67,073	△67,073
自己株式の処分		△6,508		68,958	62,449
持分法適用会社の持分率変動による差額				△335	△335
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）					
連結会計年度中の変動額合計	-	△6,508	△625,897	1,549	△630,856
平成20年2月29日残高	28,143,695	25,066,497	5,114,202	△1,349,917	56,974,478

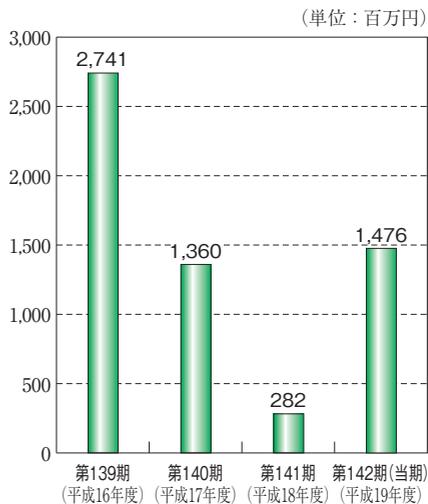
	評価・換算差額等		新株予約権	少数株主 持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計			
平成19年2月28日残高	6,110,917	6,110,917	24,208	1,521,995	65,262,455
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当					△372,485
連結子会社減少に伴う剰余金増加					85,654
当期純損失					△339,066
自己株式の取得					△67,073
自己株式の処分					62,449
持分法適用会社の持分率変動による差額					△335
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）	△3,560,845	△3,560,845	41,499	△231,785	△3,751,131
連結会計年度中の変動額合計	△3,560,845	△3,560,845	41,499	△231,785	△4,381,986
平成20年2月29日残高	2,550,071	2,550,071	65,708	1,290,210	60,880,468

## 業績の推移・個別

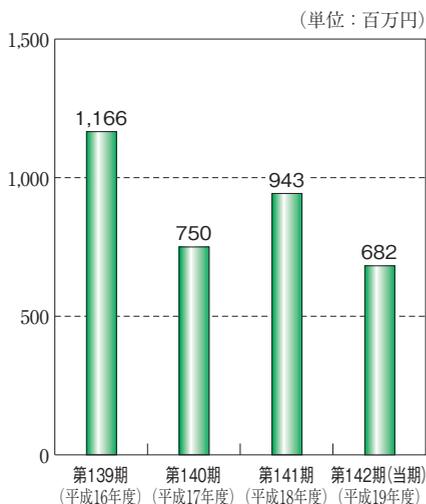
### 売上高



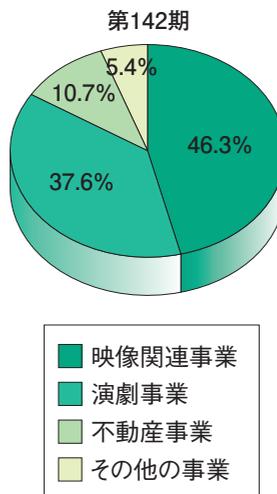
### 経常利益



### 当期純利益



### 事業別売上



# 貸借対照表

(平成20年2月29日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>資産の部</b>		<b>負債の部</b>	
<b>流動資産</b>	<b>19,738,694</b>	<b>流動負債</b>	<b>17,994,475</b>
現金及び預金	5,204,620	買掛金	3,675,786
受取手形	3,150	短期借入金	6,222,500
売掛金	4,658,833	社債(1年以内償還)	300,000
商製品	1,823,956	未払金	4,049,645
原材料	119,953	未払費用	413,341
仕掛品	2,946	未払事業所税	48,018
貯蔵品	2,579,094	未払法人税等	96,950
前渡金	16,187	前受金	1,407,079
前払費用	1,677,075	預り金	1,445,355
延税金資産	221,287	賞与引当金	315,429
短期貸付金	603,733	その他の流動負債	20,368
立替金	842,806	<b>固定負債</b>	<b>34,940,599</b>
未収消費税等	467,475	社債	1,800,000
その他の流動資産	95,561	長期借入金	25,790,000
貸倒引当金	1,479,566	繰延税金負債	729,031
<b>固定資産</b>	<b>92,959,877</b>	退職給付引当金	1,117,628
<b>有形固定資産</b>	<b>49,083,814</b>	役員退職慰労引当金	399,187
建物	17,765,920	受入保証金	5,104,751
設備	6,713,066	<b>負債合計</b>	<b>52,935,074</b>
構築物	92,032	<b>純資産の部</b>	
機械及び装置	535,921	<b>株主資本</b>	<b>57,136,260</b>
運搬具	3,062	資本金	28,143,695
工具・器具・備品	1,416,930	資本剰余金	25,066,497
土地	18,952,802	資本準備金	23,068,561
建設仮勘定	3,604,079	その他資本剰余金	1,997,935
<b>無形固定資産</b>	<b>1,319,591</b>	<b>利益剰余金</b>	<b>4,608,124</b>
借地権	974,866	その他利益剰余金	4,608,124
商標	10,110	固定資産圧縮積立金	2,533,935
ソフトウェア	334,614	繰越利益剰余金	2,074,188
投資その他の資産	<b>42,556,470</b>	<b>自己株式</b>	<b>△682,056</b>
投資有価証券	13,466,001	評価・換算差額等	2,568,720
関係会社株	12,570,061	その他有価証券評価差額金	2,568,720
関係会社出資	9,296,068	<b>新株予約権</b>	<b>65,708</b>
長期貸付金	3,517,877	<b>純資産合計</b>	<b>59,770,689</b>
差入保証金	4,764,222	<b>負債・純資産合計</b>	<b>112,705,763</b>
その他の投資	942,021		
貸倒引当金	△1,999,781		
繰延資産	7,192		
株式交付費	7,192		
<b>資産合計</b>	<b>112,705,763</b>		

# 損 益 計 算 書

(平成19年3月1日から  
平成20年2月29日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額
売 上 高	58,616,819
売 上 原 価	36,572,053
売 上 総 利 益	22,044,765
販売費及び一般管理費	20,814,327
営 業 利 益	1,230,438
営 業 外 収 益	1,143,661
受取利息及び配当金	854,014
そ の 他	289,646
営 業 外 費 用	897,263
支 払 利 息	502,699
貸倒引当金繰入額	208,863
そ の 他	185,700
経 常 利 益	1,476,836
特 別 損 失	555,215
固 定 資 産 除 却 損	46,428
投 資 有 価 証 券 評 価 損	80,500
関 係 会 社 株 式 評 価 損	50,862
減 損 損 失	377,423
税 引 前 当 期 純 利 益	921,620
法人税、住民税及び事業税	23,632
法 人 税 等 調 整 額	215,446
当 期 純 利 益	682,542

# 株主資本等変動計算書

(平成19年3月1日から  
平成20年2月29日まで)

(単位：千円)

	株主資本									
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金					
				固定資産圧縮積立金	固定資産圧縮特別勘定積立金	繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
平成19年2月28日残高	28,143,695	23,068,561	2,004,444	25,073,005	889,045	1,686,875	1,724,090	4,300,011	△683,941	56,832,770
事業年度中の変動額										
固定資産圧縮積立金の積立					1,686,875		△1,686,875	-		-
固定資産圧縮積立金取崩					△41,984		41,984	-		-
固定資産圧縮特別勘定積立金取崩						△1,686,875	1,686,875	-		-
剰余金の配当							△374,429	△374,429		△374,429
当期純利益							682,542	682,542		682,542
自己株式の取得									△67,073	△67,073
自己株式の処分			△6,508	△6,508					68,958	62,449
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)										
事業年度中の変動額合計	-	-	△6,508	△6,508	1,644,890	△1,686,875	350,097	308,113	1,885	303,489
平成20年2月29日残高	28,143,695	23,068,561	1,997,935	25,066,497	2,533,935	-	2,074,188	4,608,124	△682,056	57,136,260

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計		
平成19年2月28日残高	6,087,025	6,087,025	24,208	62,944,004
事業年度中の変動額				
固定資産圧縮積立金の積立				-
固定資産圧縮積立金取崩				-
固定資産圧縮特別勘定積立金取崩				-
剰余金の配当				△374,429
当期純利益				682,542
自己株式の取得				△67,073
自己株式の処分				62,449
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	△3,518,305	△3,518,305	41,499	△3,476,805
事業年度中の変動額合計	△3,518,305	△3,518,305	41,499	△3,173,315
平成20年2月29日残高	2,568,720	2,568,720	65,708	59,770,689

## 当社の情報 (平成20年2月29日現在)

### □会社の概要 ●●●●

商号 松竹株式会社  
 設立 大正9年11月  
 資本金 28,143,695,022円  
 従業員数 616名

本社、支社および営業所  
 本社

東京都中央区築地四丁目1番1号

電話 03-5550-1533 (総務課)

関東支社(東京)

関西支社(大阪)

九州営業所(福岡)

当社ホームページ

<http://www.shochiku.co.jp/>

### □役員 ●●●●

代表取締役会長	大迫 谷本 信 義
代表取締役社長	大迫 谷本 信 義
専務取締役	野田 孫 正 厚
専務取締役	安中 孫 島 文
常務取締役	中上 島 條 清
取締役相談役	油谷 井本 信 輝
取締役	白松 関 大 四
取締役	荒牧 中 田 大 雅
取締役	武細 中 田 光
取締役	岡田 村 敏
常勤監査役	河 柏 直
監査役	中 川 勝
監査役	明 治 彦
監査役	弘

### □株式の状況 ●●●●

発行可能株式総数 300,000,000株

発行済株式の総数 125,695,578株 (自己株式874,066株を含みます。)

株主数 19,544名 (前期末比391名増加)

大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数	出資比率
株式会社歌舞伎座	4,802,000株	3.82%
株式会社みずほコーポレート銀行	4,500,000	3.58
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,344,000	3.46
セコム株式会社	3,700,000	2.94
三井物産株式会社	3,700,000	2.94
株式会社大林組	3,600,800	2.86
大成建設株式会社	3,444,000	2.74
西松建設株式会社	3,288,000	2.62
モルガンスタンレーアンドカンパニーインターナショナルピーエルシー	3,052,000	2.43
株式会社東京放送	2,542,000	2.02

## グループ会社の状況 (平成20年2月29日現在)

### □ 連結子会社 ●●●

- ・ 松竹衣裳(株)  
舞台衣裳等の製作・販売・賃貸
- ・ (株)松竹サービスネットワーク  
映画関連グッズの販売、各種イベントの企画製作および運営、不動産管理・清掃、フラワー事業、損害保険の代理、警備
- ・ 松竹関西サービス(株)  
不動産管理・清掃
- ・ (株)ショウビズスタジオ  
舞台、映画、テレビ、ラジオの番組企画・製作並びに音響効果の企画・製作・再生
- ・ 中映(株)  
浅草中映劇場他4スクリーンの映画館運営
- ・ 松竹芸能(株)  
タレント・俳優の養成並びにマネージメント、演劇・テレビドラマ・イベントの企画・製作
- ・ (株)衛星劇場  
CS・CATV放送、ソフト製作・編集【衛星劇場・ホームドラマチャンネル】
- ・ (株)松竹デジタルセンター  
映像制作、編集およびDVDオーサリング
- ・ (株)松竹マルチプレックスシアターズ  
複合映画館(シネマコンプレックス)の開発・運営
- ・ (株)トライメディア  
劇場上映のCMの制作および送出、その他のマルチメディア全般の企画開発等
- ・ 松竹音楽出版(株)  
映画音楽の制作並びに音楽著作権の管理
- ・ 松竹京都映画(株)  
劇場用映画・テレビ映画の製作、短編・CM映画の製作並びに請負【松竹京都映画撮影所】
- ・ 歌舞伎座舞台(株)  
演劇舞台の大道具製作・販売
- ・ (株)松竹ニューセレクト  
複合映画館「MOVIX本牧」(8スクリーン)の映画館運営

- ・(株)伝統文化放送  
CS・CATV放送局、ソフト製作・編集【歌舞伎チャンネル】
- ・(株)関西美術  
演劇舞台の小道具製作・賃貸
- ・日本演劇衣裳(株)  
舞台衣裳等の製作・販売・賃貸
- ・(株)ムービーチャンネル  
CSのPPV放送局、ソフト製作・編集【POWER PLAT'S】
- ・(株)松竹エンタテインメント  
俳優・芸能タレント・音楽家・スポーツ選手・アーティストの育成  
並びにマネージメント
- ・(株)ドーガ堂  
通信回線を利用したデジタルコンテンツの企画・製作・販売
- ・匿名組合築地ビルキャピタル  
ADK松竹スクエアの賃貸借および管理

□持分法適用会社 ●●●

- ・アナザヘヴン(株)  
映画の製作および配給、並びにその請負・販売
- ・(株)サテライト・マスター  
CS放送局の番組送出
- ・(株)サンシャイン劇場  
サンシャイン劇場の賃貸、演劇・映画の興行他
- ・札幌シネマフロンティア(株)  
複合映画館「札幌シネマフロンティア」(12スクリーン)の運営
- ・(株)イヤホンガイド  
演劇劇場内イヤホンガイドサービス
- ・日本映像振興(株)  
映像関連イベントの企画・運営
- ・(株)歌舞伎座  
歌舞伎座その他事務所・店舗の賃貸
- ・新橋演舞場(株)  
新橋演舞場その他の事務所・店舗の賃貸

## 株 主 メ モ

事業年度	3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月下旬
株主確定基準日	定時株主総会 2月末日 期末配当 2月末日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国本支店
単元株式数	1,000株
公告掲載新聞	東京都において発行する日本経済新聞

### ◎株式に関するお手続きのご請求について

次のフリーダイヤル電話およびインターネットでも24時間受付けておりますので、ご利用下さい。

0120-244-479

(三菱UFJ信託銀行 本店証券代行部)

0120-684-479

(三菱UFJ信託銀行 大阪証券代行部)

インターネットアドレス

<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

なお、証券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会下さい。

### ◎配当金のお受取方法について

振込口座をご指定されておられない株主様には、従来「郵便振替支払通知書」にて配当金をお受取り頂いておりましたが、平成19年10月1日に日本郵政公社が民営化されたことに伴い、「郵便振替支払通知書」に代わって「配当金領収証」にて配当金をお受取り頂くこととなりました（従来のとおり、お近くのゆうちょ銀行または郵便局の貯金窓口にて配当金をお受取り頂くことができます）。

## 株主優待基準

### 【株主優待権利確定日および優待期間】

権利確定日	映画優待期間	演劇優待期間
毎年2月末日	毎年6月1日～同年11月30日	毎年6月分～同年11月分
毎年8月末日	毎年12月1日～翌年5月31日	毎年12月分～翌年5月分

※6ヶ月ごとに株主様へ優待内容通知をご通知いたします。

### 【映画優待 ポイント付与基準】

保有株式数	6ヶ月優待ポイント数（1ヶ月使用可能ポイント数）	
1,000株以上	80ポイント	（40ポイント）
2,000株以上	160ポイント	（60ポイント）
3,000株以上	200ポイント	（80ポイント）
5,000株以上	280ポイント	（100ポイント）
8,000株以上	400ポイント	（120ポイント）
10,000株以上	480ポイント	（140ポイント）

### 【演劇優待 枚数基準】

保有株式数	6ヶ月優待枚数
3,000株以上	2枚
5,000株以上	4枚
8,000株以上	6枚
10,000株以上	8枚
15,000株以上	12枚
20,000株以上	16枚

※「6ヶ月優待ポイント数」とは、優待権利期間の6ヶ月の間に使用できるポイント総数です。

そのポイント総数の内、1ヶ月に使用できる上限のポイント数を示しているのが、「1ヶ月使用可能ポイント数」です。

※1名様につき、10ポイントが必要となります。なお、「新宿ピカデリー」のみ1名様につき20ポイントが必要となります。

新宿ピカデリーは公開の2週目（8日目）以降から利用可能です。「プラチナシート」・「プラチナルーム」はご利用になれません。

ここには、忘れていた大切なものがある——



**築地**  
**魚河岸三代目**  
うおがし [www.uogashi3.jp](http://www.uogashi3.jp)

大沢たかお 田中麗奈 伊原剛志 森口瑠子 柄本明 伊東四朗  
マギー 荒川良々 江口のりこ 温水洋一 荻村リエ 佐野史郎 森下愛子 鈴木一真 甲本雅裕 田口浩正 六平直政 大杉漣  
監督・松原信吾



プロデューサー/深津幸・矢島幸 原作/はしもとみづほ・鎌倉敏治(小学館「シブトラ」) 漫画 脚本/安部裕樹・成島出 撮影/長沼八朗 美術/横山昌 音楽/本多俊之 照明/中野昌士 録音/杉本肇 編集/石島一夫  
主催/東宝 制作/東宝映画(株) 配給/東宝 宣伝/東宝映画(株) 制作/「築地魚河岸三代目」製作委員会(松竹、三井物産、小学館、東宝映画、木下工務店、小学館プロダクション、大塚、コアプロダクツ、Yahoo! JAPAN) 制作/配給/松竹株式会社

**6月7日(土)ロードショー!**